

◆◆ 読者プレゼント ◆◆

抽選
5人

香里園
サクランボ1パック



応募方法 はがき、または市HP応募フォームに住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙の感想や要望を書いて応募。商品は店舗で受け取り。

締切 6月21日(月)必着

宛先・問合せ 〒378-8501
沼田市下之町 888 秘書課
広報聴係 ☎内線4006



ぬまたブランド農産物認証者 1

加工品のおいしさはリンゴの質が決め手



香里園 -上発知町-

【写真左から】 斎藤弘美さん・岩男さん・恵子さん

有機肥料で育てたりんごをはじめ、ジュースやジャムなどの加工品がブランド品として認証。加工品に使う品種は、ふじや名月など時期によって異なり、糖度が高く品質の良いりんごを厳選して、凝縮したおいしさを生かしている。

平成6年に開園。園主の岩男さんは大工から転職したりんご農家で、地域や普及員に教わりながら栽培を覚えた。当時、弘美さんは小学生。道路沿いで姉と共に売り子として家業を手伝い「お客さんにかわいがってもらった」と笑顔を見せる。

令和元年には県りんご品評会で金賞を受賞。サクランボの栽培もしており、6月中旬からはサクランボ狩りを楽しめる。

ぬまたの旬をクッキング No.8
サクランボの天板ケーキ

旬のサクランボはシロップ漬けもおいしい。果実をふんだんに使ったケーキには、バニラアイスが合います



クックパッドでレシピ公開中

沼田市クックパッド 検索



地域おこし協力隊だより No. 8

ホタル飛翔 癒やしの光

高津修

農作業も一段落し、夏の風を感じるようになりました。虫たちが羽音を響かせ元気に田畑を飛び回り、カエルたちが互いに負けじと大きな鳴き声を張り上げ合唱しています。

ホタルの再生事業を始めた2019年は、薄根小学校の児童たちの協力により、ホタルの餌となるカワニナを放流しました。ホタルの再生は難しく、1年目は期待していませんでしたが、共に働くスタッフから連絡が入り棚田に駆け付けると、予想を大きく

上回る数のホタルが舞っていました。新聞記事に取り上げられ、遠方からも多くの人に来てくれました。

去年は世情により、児童たちに協力してもらうことはできませんでしたが、スタッフが環境保全を続けてきました。以前より環境が良化していると思われ、カワニナが目につくようになりました。今年はさらに数多くのホタルの飛翔が期待できます。6月20日から7月4日頃までが見頃と推察されるので、素晴らしいホタルの舞を見に来てください。



幻想的な光を放つ棚田のホタル(昨年の様子)

問合せ 観光交流課交流
推進係 ☎内線5031

石墨棚田
ホタルの里 ▶



チャレンジ
手話



「⑧ 田植え」



人差し指・中指・薬指で漢字の「田」の字を作る



左手を軽く握り、右手で束をつまむように矢印の方向へ出す。2回繰り返す



👍 手話を身近に

手話に親しめるように、毎月紹介します

動画をチェック
応用編に挑戦 ▶



問合せ 社会福祉課障
害福祉係 ☎内線3109